

原村農業委員会研修旅行

沖縄県恩納村にてシンカプロジェクトの研修を受ける。恩納村役場の大城さんに説明を聞く。小さな山の村と海の村の大きな取り組みシンカプロジェクト「シンカ」とは沖縄の方言で「仲間」を意味する「シンカヌチャー」が由来とされています。長野県川上村より、レタスの栽培技術指導を受け恩納村で産地化を目指す。夏は亜熱帯気候で暑く冬は20度前後と川上村の夏と似ています。恩納村ではパッションフルーツなどの果樹や小ギク、観葉の花き類やサトウキビなどを栽培しています。レタス等の生鮮野菜を栽培することは、農地の有効活用や農業の効率化の為に有効ですが、野菜栽培の技術や経験がなく大きな課題でした。川上村の長く培った野菜栽培技術を活用してレタス栽培に取り組むプロジェクトが「シンカプロジェクト」です。冬になると鳥がレタスをエサとして園場に現れる。定植直後の苗から出荷前のレタスまで食害を発生させるほか、防鳥ネットを設置してもらうというが

強風（30m位）の影響で設置後に破れることも多く、対策に苦慮している。圃場によっては風速20〜30mが2日間続き、潮風による塩害でレタスの害葉が枯死してしまう現象が続いたり日照不足が近年発生しており生育不良が発生している。平成28年には生産者が16名いたが令和4年度は2名になっている。残った生産者の栽培技術は向上しているが、気候有害鳥獣、販路拡大に課題がある。

美ら海水族館では世界最大級の大きさの水槽でジンベエザメやナンヨウマンタなどがかなり見ごたえあり。伊江島が一望できる抜群のロケーションである。

ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆりの塔は、沖縄戦で亡くなった、ひめゆり学徒のための慰霊碑。2021年にリニューアルオープンした資料館では、生徒の戦場での持ち物などの実物資料、生存者の証言映像や手記などを通して、戦争や平和について知り、学ぶことができる。

たくさんの生徒が亡くなった壕跡に建つ、ひめゆりの塔にひめゆり学徒の鎮魂と平和を願う。

日達克己